

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	580 農業振興事務経費	会計	01	一般会計
基本 施策	42 持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
		項	01	農業費
		目	03	農業振興費
施策	3 農業生産性の向上	細目	101	農業振興経費
		細々目	01	農業振興事務経費
基本計画該当		160		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 53500	評価者 氏名	岡島 誠	
	名称 伊賀支所 産業建設課	連絡先	45 - 9119 (内線) 300	

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地域住民の交流と地域間交流を目的としてふれあい農業まつりを開催する実行委員会。 (※対象件数)	地域間交流の推進により住民同士の交流が深まる。また、地域内の一体感の強化も推進される。
根拠法令・要綱等 支所関係補助金等交付要綱	
開始年度 平成 年度 終了年度 平成 年度	関連事業
事業内容 農業まつり実行委員会活動内容 ・実行委員会を開催し事業内容の検討。 ・各団体との協議。 ・開催準備および後片付け等の実施。	状況変化等 担い手センター補助金については、平成21年度より農地流動化地域総合対策事業に変更。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容			
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額													
委託	↔	農業まつり補助金		216	農業まつり補助金		216	農業まつり補助金		184	農業まつり補助金		220	農業まつり補助金		220	農業まつり補助金		220	
		担い手センター補助金		1,800	担い手センター補助金		990													
		旅費		0	旅費		2	旅費		3	旅費		3	旅費		3	旅費		3	
		需用費		104	需用費		53	需用費		42	需用費		50	需用費		50	需用費		50	
進捗率 (%)																				
事業費計(A)		Σ	2,120	事業費計(A)	Σ	1,261	事業費計(A)	Σ	229	事業費計(A)	Σ	273	事業費計(A)	Σ	273	事業費計(A)	Σ	273		
事業投入人員		人件費(B)	0.3 人	2,160	人件費(B)	0.3 人	2,160	人件費(B)	0.1 人	720	人件費(B)	0.1 人	720	人件費(B)	0.1 人	720	人件費(B)	0.1 人	720	
フルコスト (A)+(B)			4,280		3,421		949		993		993		993		993		993		993	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	2,120	1,261	229	273	273	273
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	2,120	1,261	229	273	273	273
計	2,120	1,261	229	273	273	273
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
ふれあい農業まつり開催	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
ラジコンヘリコプターによる共同防除	ha	目標 500 実績 563	目標 530 実績 575	—	—
土壌改良剤の散布	ha	目標 18 実績 18	目標 20 実績 17	—	—

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
ふれあい農業まつり参加者数の増減	地域間交流を目的としているため	人	目標 1000 実績 1000	目標 1000 実績 1000	1000	1300
農作業等受託面積	遊休農地等を増加させないため	ha	目標 400 実績 315	目標 400 実績 320	—	—

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	地域の活性化並びに地域農業の振興は行政の責務であり地域間交流は必要である。
有効性	3	現在の体制を堅持すること。
達成度	3	ほぼ計画どおり推進できた。
効率性	3	地域間交流に重点を置き、地産地消を展開するイベントとして効率的である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	地域間交流ついて、今後も継続の必要があるため引き続き実施する。